

図書館かがわ

香川県立図書館報 第100号

祝!

発行日 2013.7.1

ISSN 1344-5464

Library Kagawa

椅子に座ったスタイルで
お点前を体験しました!

「楽しくチャ・ちゃ・茶」



おはなし会



袱紗(ふくさ)は
このように たたみます。



としょかんコンサート

「こども読書まつり」を開催しました。

香川県立図書館では、毎年「こどもの読書週間(4月23日～5月12日)」にあわせて、「こども読書まつり」を開催しています。子どもが本や読書に親しむきっかけとなるおはなし会やかみしばい会のほか、手品ショーや工作教室、コンサートなどがあり、図書館を利用したことのない子も楽しんでもらえるような行事です。

今年の「こども読書まつり」では、はじめて小学生を対象とした茶道入門「楽しくチャ・ちゃ・茶」を開催したほか、全部で10の行事に、のべ800名ちかくの子どもと保護者のみなさんが参加してくれました。

この行事のために、はじめて県立図書館を利用したという赤ちゃん連れの保護者の姿もありました。これからも、本や読書に親しむきっかけとなり、県立図書館を身近に感じていただけるような機会を作っていきたいと思えます。

「図書館かがわ」100号記念特集

～県立図書館の歩みを「図書館かがわ」の表紙と振り返る～

① No.1 (1978年10月)



② No.31 (1986年4月)



③ No.48 (1994年6月)



①創刊から1986年頃まで、郷土資料案内の記事が表紙を飾っていました。今でも現役で活躍している資料が多く紹介されています。

②31号から67号まで、香川の文化財や民俗などについて、専門家に執筆依頼していました。郷土史に興味のある方は、是非ご一読を！

③1994年3月、現在の新館が開館しました。当時は、田んぼに囲まれた、のどかな環境でした。ちなみに旧館（番町）は改修され、アイパル香川として使用されています。

⑤88号から現在まで、県立図書館のサービスや行事などをお伝えしています。

④誌面を大幅にリニューアルし、職員による蔵書紹介を掲載するようになりました。

⑤ No.88 (2007年6月)



④ No.68 (2000年6月)



閉館20周年に向けて ステップアップ！
2014年3月、香川県立図書館は新館開館20周年を迎えます。

この本オススメです！

～図書館の本棚からピックアップ～

「ぼくは、図書館がすき 漆原宏写真集」

漆原 宏／著

(日本図書館協会) 2013. 4

(請求記号：0162/U1/2)



図書館があなたの好きな
場所になりますように。

明るい閲覧室では、10数人の利用者がそれぞれの時間を過ごしています。雑誌を読みふける人、親子連れ、うとうとと居眠りをしている人も……。この写真に付けられたコメントは、「我がまちの自慢の図書館」。

40年にわたり全国各地の図書館を取材し、撮影してきた漆原宏氏の写真集です。

取り上げているのは、市や町の図書館だけでなく、小・中学校の図書室から大学図書館、点字図書館など。利用者、図書館職員、ボランティアの方など、乳児から高齢者まで、図書館に集うさまざまな人々の表情を見ることができます。

「本を読む・借りる」、「何かを調べる」ところだけではない図書館がここにはあります。どの写真にも、漆原氏の「図書館がすき」な気持ちがあふれています。登場する人々の会話が聞こえ、利用者の皆さんのこんな笑顔、こんな真剣な顔に出会いたいと思ってしまう1冊なのです。

図書館で働く私たちだけでなく、利用者の皆さんにもぜひご覧いただきたい。そして、図書館があなたの好きな場所になったらいいなと願いをこめてオススメです。

「中原淳一ART BOX 美コレクション」

中原淳一／著，ひまわりや／監修

(講談社) 2012. 11

(請求記号：N33/726/34)



中原淳一 生誕100年

“中原淳一”という名を聞いて、すぐにピンとくる人もいるでしょうが、「？」となる人も少なくはないのでしょうか。かくいう私も後者のひとりでしたが、その絵をみれば、この絵を描いた人かとすぐに思うことでしょう。

中原淳一は、香川県大川郡白鳥町（現・東かがわ市）の出身で、今年、生誕100年をむかえます。彼は若い時からその才能を認められ、画家、ファッションデザイナー、人形作家、編集者など、各方面で多彩な才能を発揮し活躍しました。

この『中原淳一ART BOX』は、そんな彼の数多くの業績の中から、雑誌『少女の友』『それいゆ』『ひまわり』などの表紙を飾った絵や挿絵などを集めた一冊です。表紙の女性に目がくぎづけになり、思わず手にしてしまいます。ページをめくると、美しい色使いのおしゃれな少女たち、女性たちが次々に目に飛び込んできます。しかし、そこには静かな中にも凛としたものを感じます。

加えて、所々にある彼の考える「美しさ」に対する言葉は、当時の女性たちを魅了したばかりでなく、現代の女性の心にもゆっくりと沁み込んでくるように思えます。



国立国会図書館より御礼状をいただきました！

レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が、全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館等と協同で構築しているデータベースです。事業に参加する図書館が、一般の方の情報探索に役立つような情報、図書館員のレファレンス業務に役立つような情報を、日々登録しています。

香川県立図書館がレファレンス協同データベースにレファレンス（質問・回答）事例の登録を積極的に行っていることや、登録した事例がインターネットを通じて幅広く参照されていることから、平成25年3月18日付けで、国立国会図書館より御礼状をいただきました。この御礼状をいただくのは、今回で5度目となります。

当館では、今後ともレファレンスサービスの向上に努め、利用者みなさんの課題解決や生涯学習意欲に役立ててまいります。

当館がレファレンス協同データベースに登録しているレファレンス事例については、当館ホームページの香川県立図書館レファレンス事例でもご参照いただけます。



平成24年度 香川県立図書館の統計データがまとまりました！

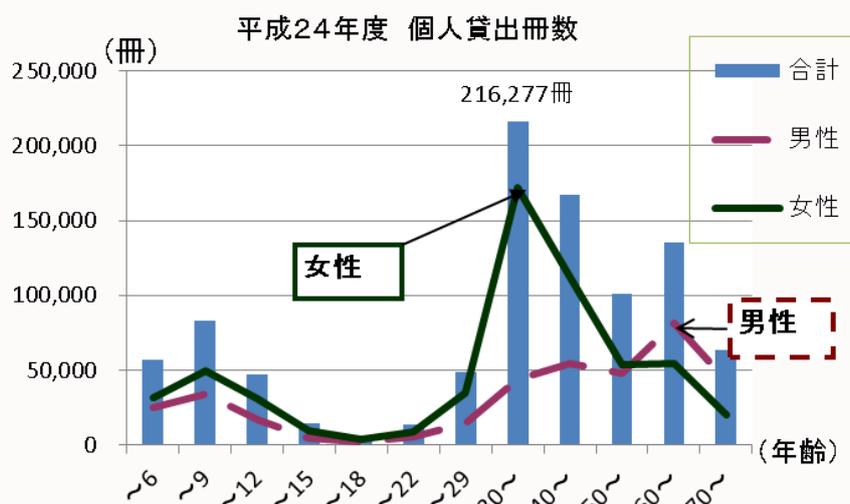
| | 開館日数 | 入館者数（人） | | *個人貸出（冊） | |
|--------|------|---------|-------|----------|-------|
| | | 合計 | 1日平均 | 合計 | 1日平均 |
| 平成24年度 | 298 | 527,150 | 1,769 | 954,239 | 3,202 |
| 平成23年度 | 293 | 523,722 | 1,787 | 935,351 | 3,192 |
| 増減 | 5 | 3,428 | ▲ 18 | 18,888 | 10 |

*団体貸出と図書館への貸出を除いた、個人の利用者への貸出冊数

貸出冊数を年代別に見ると、1位30代、2位40代、3位60代です。10代の中・高生あたりの貸出冊数が少ないのが気になるようです。

女性は、30代が最も多く、子育て中のお母さんが、自分の読みたい本や子どものための本をたくさん借りられているのではないのでしょうか。

一方、男性は、60代が最も多くなっています。退職後、時間に余裕ができたことを機に、図書館を利用される方が増えているのでしょう。



※詳しい統計データは香川県立図書館ホームページをご覧ください。 <http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19（香川インテリジェントパーク内）

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>